

北海道留萌管内地域公共交通計画（案）に対する意見募集結果

令和5年（2023年）6月（計画公表日）日

北海道留萌管内地域公共交通計画（案）について、道民意見募集手続により道民の皆様からご意見を募集したところ、2名から、2件のご意見が寄せられました。

ご意見の要旨及びご意見に対する北海道留萌管内地域公共交通活性化協議会の考え方については、次のとおりです。

意見の概要	意見に対する北海道留萌管内地域公共交通活性化協議会の考え方※
<p>特急あさひかわ号を利用した方に話を聞いたことがあるが、旭川では駅前以外に西イオンにも停留するため利便性が高く利用しやすい路線であると評判は高い。3年間だけではなく、継続していく方向で検討して欲しい。</p> <p>また、空港などへも経由して運行するようになると、道外からの旅行者やインバウンドなどの利用客が増えると思われる。</p>	<p>本計画は、留萌管内における最適かつ持続可能な公共交通ネットワークの構築に向け策定するマスタープランであり、広域的なバス路線について維持・確保方針を定めていますが、特急あさひかわ号は、3年間の実証運行中であることから、維持・確保方針を定めず参考路線として記載しています。</p> <p>本路線については、今後、利用状況や利用者の要望等を踏まえながら、関係者が連携してそのあり方について検討してまいりますので、いただいたご意見は今後の検討の参考とさせていただきます。</p> <p style="text-align: center;">C</p>

意見の概要

意見に対する北海道留萌管内地域  
公共交通活性化協議会の考え方※

オロロンラインにおける公共交通機関の現状と旅行者のニーズ

・札幌からの都市間バスについては、現状札幌-羽幌（幌延）間は羽幌沿岸バス、札幌-稚内間は、宗谷バス及び北斗バスがそれぞれ運行しているが、宗谷バス及び北斗バスは羽幌「道の駅」でトイレ利用のため一時休憩のみで乗降はできない。そのため札幌から天売島・焼尻島へ旅行するためには羽幌沿岸バスを利用せざるを得ず便数も限られる。また天売島・焼尻島を観光した後、利尻島・礼文島に行くためには、沿岸バスの一般路線バスで幌延まで行きそこから JR に乗り換えて稚内まで、そこからフェリーで利尻島・礼文島に向かう方法しかなく、またその逆のコースも同様で、いずれも乗り継ぎのアクセスが非常に悪いことから改善の必要がある。特に今後外国人客の増加も大いに期待できることから、公共交通機関の利用は増大すると考える。そこで現状の問題点を実際の時刻に沿って例を挙げ、その改善策も提案する。

※札幌～焼尻島・天売島～利尻島（例：6月1日出発）

札幌発 8:00（羽幌沿岸バス特急羽幌号）羽幌着 11:12  
 羽幌発 14:00（羽幌沿海フェリー）天売着 15:35（天売宿泊）  
 天売発 9:40（羽幌沿海フェリー）焼尻着 9:55 焼尻発 11:10 羽幌着 12:10  
 羽幌発 14:06（沿岸バス一般路線）幌延着 16:05  
 幌延発 16:30（JR 宗谷本線下り）稚内着 17:25（稚内宿泊）  
 稚内発 7:15（ハートランドフェリー）利尻着 8:55（利尻宿泊）

※利尻島～焼尻島・天売島～札幌

利尻発 8:25（ハートランドフェリー）稚内着 10:05  
 稚内発 10:28（JR 宗谷本線上り）幌延着 11:34  
 幌延発 12:20（沿岸バス一般路線）羽幌着 14:19（羽幌宿泊）  
 羽幌発 8:00（羽幌沿海フェリー）焼尻着 8:35 焼尻発 12:25 天売着 12:40（天売宿泊）  
 天売発 9:40（羽幌沿海フェリー）羽幌着 10:40  
 羽幌発 12:30（沿岸バス特急羽幌号）札幌着 15:45

本計画には、留萌地域を運行する路線を位置付けることとしているため、宗谷バス及び北斗バスが運行する「わからない号」については掲載していませんが、必要に応じて、他地域の様々な関係者とも連携を図りながら、広域交通ネットワークの維持・確保に向けて取り組むことが重要と認識しています。

天売島及び焼尻島へのアクセス向上による観光客誘客及び公共交通利用の促進は、本計画でめざす地域にふさわしい最適かつ持続可能な公共交通ネットワークの構築に向けた重要な取組のひとつと考えますので、いただいたご意見については、利用促進策を検討する際の参考とさせていただきます。

そこでこの「オロロンライン」の天売島・焼尻島と利尻島・礼文島をめぐるアクセスをより良くすることにより旅行者のニーズに応え、集客のアップにもつながると考えることから以下の提案をする。

現在、札幌-稚内間を運行している宗谷バス・北斗バスの羽幌での乗降を認める、また札幌-羽幌間を運航している沿岸バスの稚内乗り入れをそれぞれ1日1便の運行を認める。

またこれからの北海道観光を楽しむツールとして自転車の利用が増えると考え、そこでこのオロロンラインの楽しみ方として片道はバスで帰りはサイクリングでという客のニーズにもこたえるため、それぞれのバスに自転車を積めるスペースを確保することも提案する。

バス時刻については以下の提案をする。

例：札幌発・羽幌経由・稚内行（沿岸バス・北斗バス・宗谷バス共同運行）

札幌発 10：00 羽幌着 13：10（14：00 発沿海フェリーで焼尻島・天売島へ）

羽幌発 13：20（焼尻島・天売島から稚内へ向かう場合は、

焼尻発 11：10 羽幌着 12：10 13：20 発で稚内へ）

稚内着 16：00（16：40 発ハートランドフェリーで利尻島・礼文島へ）

\* 稚内発・羽幌経由・札幌行（沿岸バス・北斗バス・宗谷バス共同運行）

稚内発 10：30（利尻発ハートランドフェリー稚内着 10：05）

羽幌着 13：20（14：00 発沿海フェリーで焼尻島・天売島へ）

羽幌発 13：30（焼尻島・天売島から札幌へ向かう場合は

焼尻発 11：10 羽幌着 12：10 13：30 発で札幌へ）

札幌着 16：40

現状では、公共交通機関を利用して天売島・焼尻島に渡りその後、利尻島・礼文島に向かうコースや、利尻島・礼文島を訪れたのち天売島・焼尻島に渡るというコースを設定する旅行者はほとんど見受けられないが、この提案が実現されれば離島への公共交通機関のアクセスが格段に改善されオロロンラインを目指す客が劇的に増えるであろうことは容易に想像できる。

JR 宗谷本線（下り）

幌延発---稚内着

7：00---8：08

10：56- 12：07

11：46---12：42

16：30---17：25

18：40---19：49

22：53---23：47

（上り）

稚内発---幌延着

5：21---6：24

6：36---7：32

10：28---11：34

13：01---13-56

17：44---18：39

18：03---19：13

20：11---21：17

※「意見に対する北海道留萌管内地域公共交通活性化協議会の考え方」のA～Eの区分は次のとおりです。

A	意見を受けて案を修正したもの
B	案と意見の趣旨が同様と考えられるもの
C	案を修正していないが、今後の施策の進め方等の参考とするもの
D	案に取り入れなかったもの
E	案の内容についての質問等

問い合わせ先

北海道留萌管内地域公共交通活性化協議会 事務局

（北海道留萌振興局地域政策課内） 阿部

電話：0164-42-8425(直通)